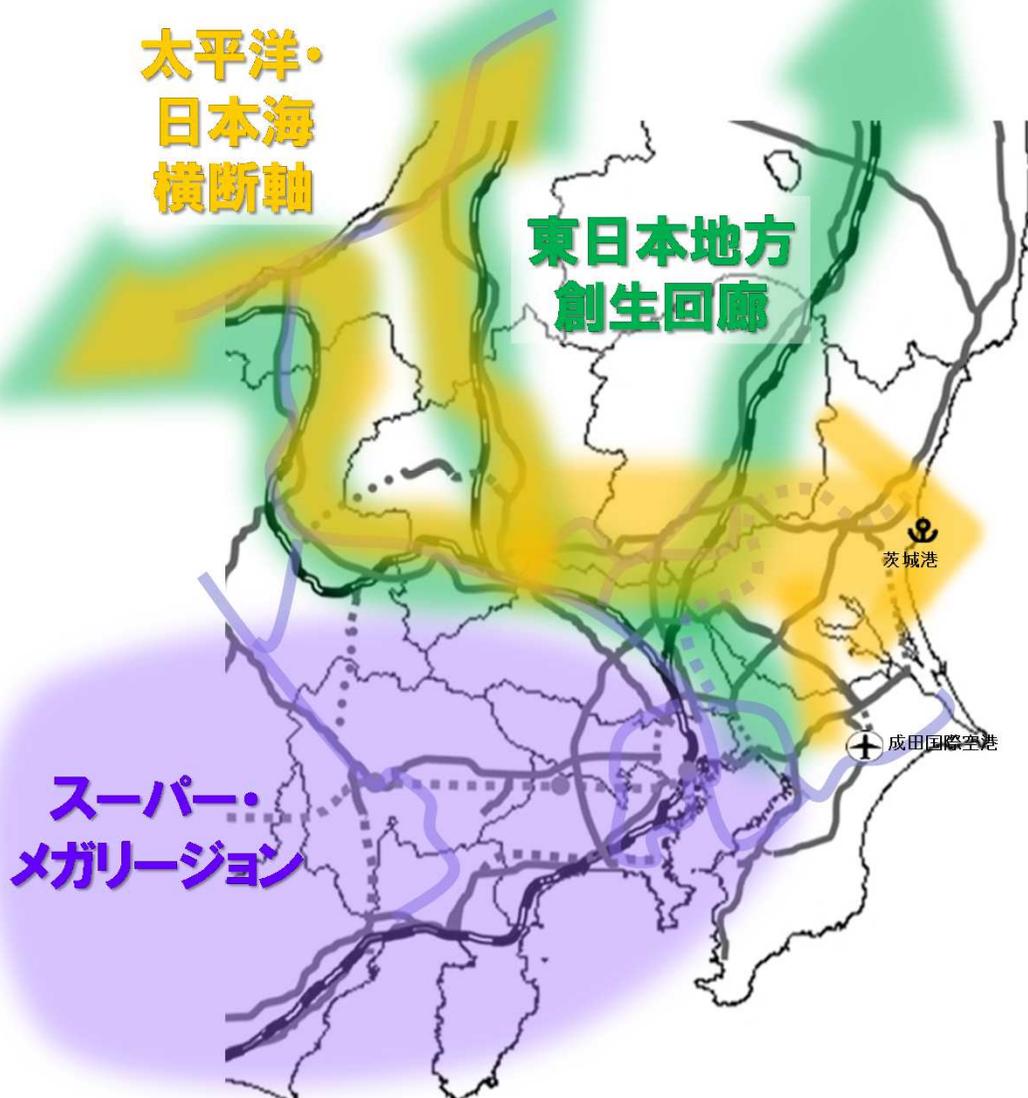


経済活力を再構築する「3つの軸」



① スーパー・メガリージョン

リニア開業を踏まえた首都圏の国際競争力高度化プロジェクト

リニア中央新幹線の開業、成田・羽田の機能強化等と都市再生制度・特区制度等の活用により東京圏の国際ビジネス機能集積を図るとともに、首都圏西部・南西部に高機能な物流・観光ハブ、R&D・新産業の集積・交流の拠点形成を図る。

② 東日本地方創生回廊

東日本地方創生回廊とスーパー・メガリージョンとの連結拠点創出プロジェクト

東北・北海道、上越、北陸新幹線が集まる大宮をスーパー・メガリージョンに対する東日本の玄関口と位置づけ、東日本各地とスーパー・メガリージョンとのビジネスマッチングや東日本各地のショールーム機能を持つ拠点を設けることなどにより両地域の対流を促進し、スーパー・メガリージョンの効果を東日本各地に波及させる。

③ 太平洋・日本海横断軸

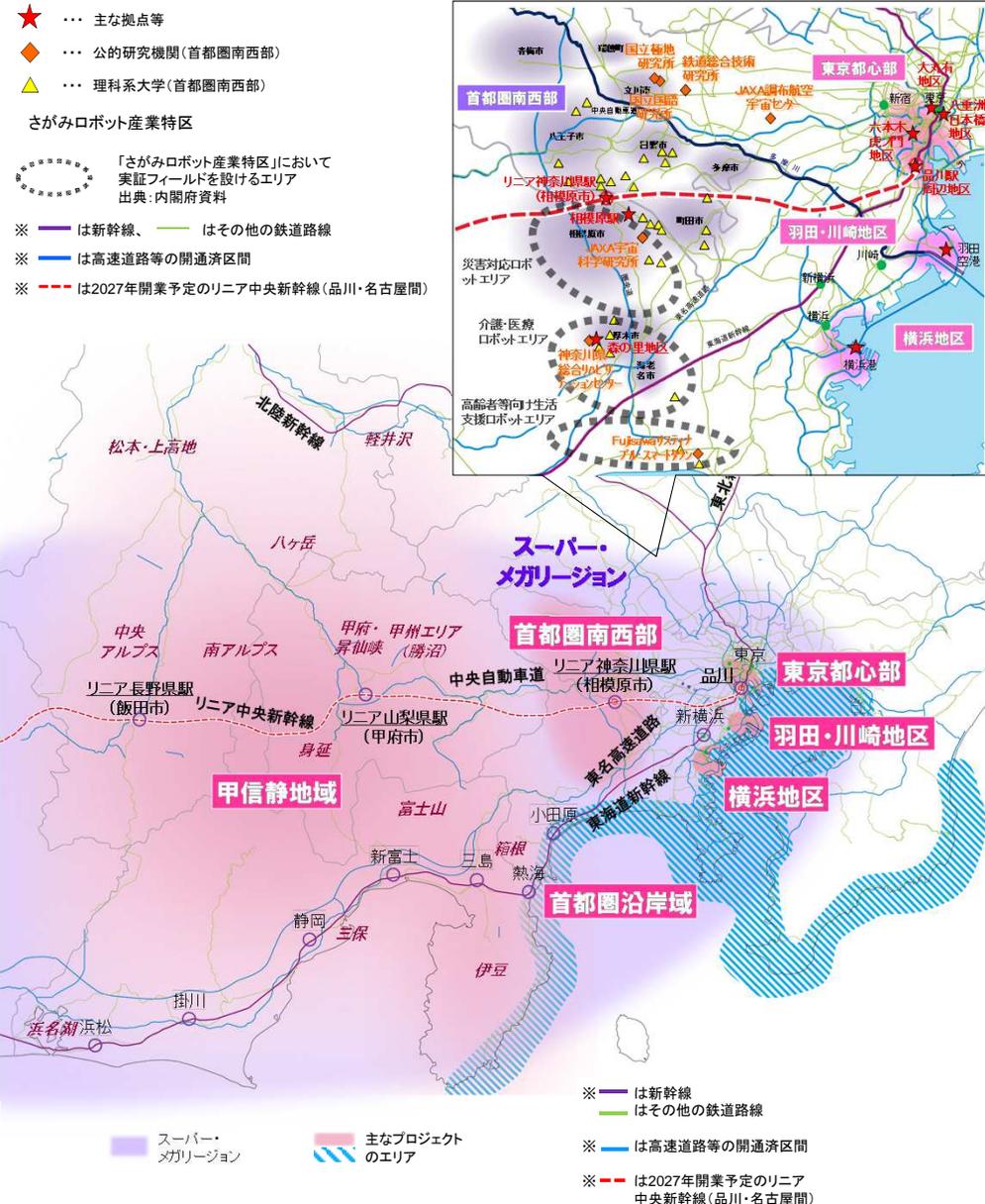
太平洋・日本海横断高競争力製造業ベルト創出プロジェクト

北関東・信越地域における北関東自動車道等の高速道路網の整備、太平洋・日本海両面の港湾を活用できる立地特性を活かし、両地域の産業連携、海外工場の国内回帰、マザー工場の集積等、競争力の高い製造・エネルギー産業の集積を進め、高度な国際競争力を有する産業集積ベルトの構築を目指す。

① リニア開業を踏まえた首都圏の国際競争力高度化プロジェクト (東京・川崎・横浜関連、首都圏南西部国際都市群の創出)

リニア中央新幹線の開業、成田・羽田の機能強化等と都市再生制度・特区制度等の活用により東京圏の国際ビジネス機能集積を図るとともに、首都圏南西部に高機能な物流・観光ハブ、R&D・新産業の集積・交流の拠点形成を図る。

リニア開業を踏まえた首都圏の国際競争力高度化に向けた取組



【背景】

- リニア中央新幹線の整備
- 東京港の整備、横浜港の大型クルーズ船受入環境改善
- 圏央道、リニア、新幹線新駅(構想中)等の整備により、首都圏南西部(280万人圏域)と中部・近畿圏とのアクセス機能が飛躍的に向上

【取組内容】

- これからの検討課題等
 - ・国際交流拠点・国際的ビジネス拠点の形成
 - ・産官学で連携し、ライフイノベーション産業の集積等の強化、海を活かしたまちづくりにおける観光・MICE拠点の整備
 - ・リニア、圏央道整備の効果を発現する産業拠点の整備並びに対流拠点(高速バスターミナル等)及び知的創造の交流拠点の整備の検討
 - ・リニアと自動運転をシームレスに組み合わせた移動サービスの検討

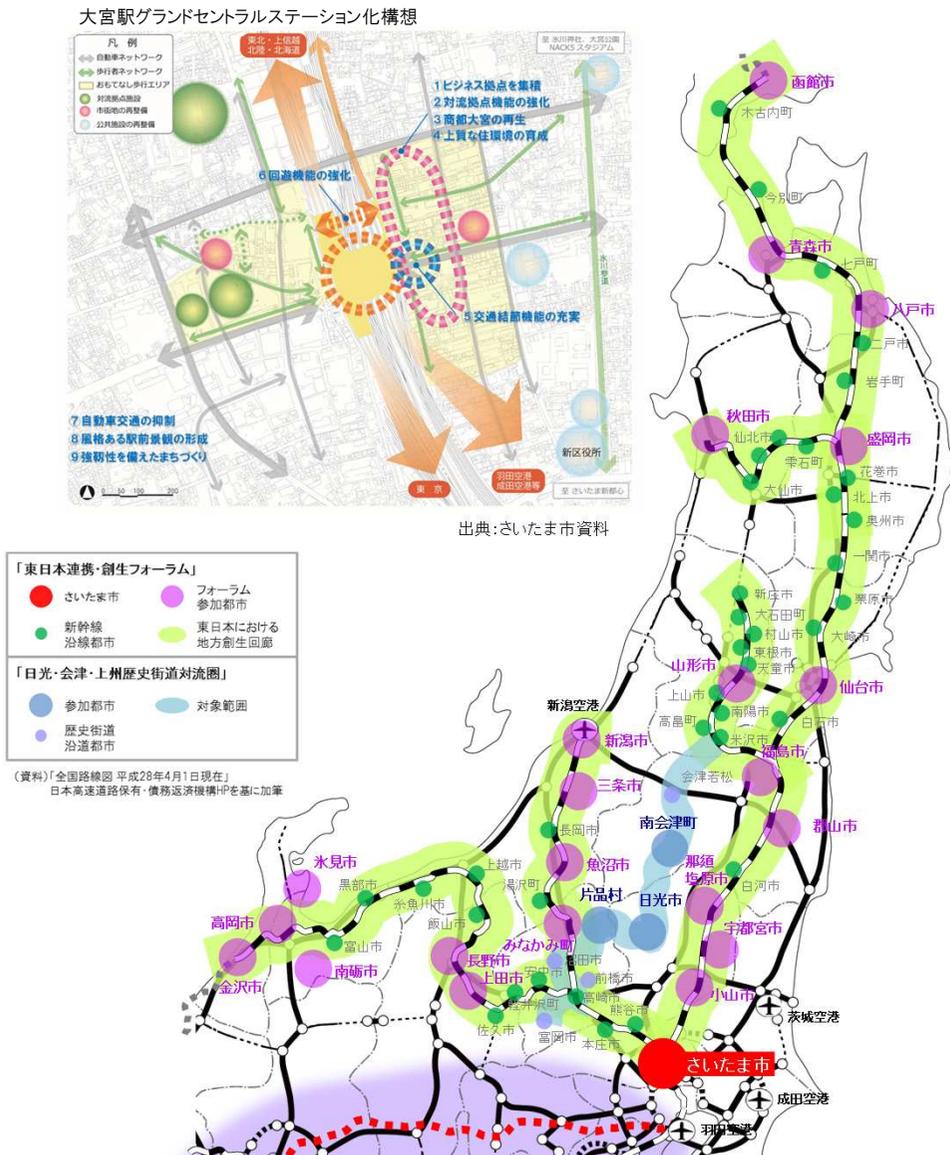
【効果】

- 都心部に、金融拠点、地域統括支店、国際会議等に選択されるアジアNo1(将来的には世界No1)のビジネス拠点を形成
- 海洋文化の教育・研究・産業など様々な活動の拠点、クルーズ船の誘致等により、国際賑わい空間の創出
- 首都圏南西部に国際ゲートウェイとして、大容量かつ高機能な物流拠点及び湘南、高尾、富士・箱根等への外国人観光のハブ拠点を整備するとともに、「未来投資」を地図に落とすエリアとして各種特区制度の活用・連携による企業・大学・研究機関等のR&D(研究開発)、ロボット・航空産業等の新産業の集積の促進及び知的創造の交流(他圏域とのナレッジ・リンク)拠点の整備
- 国際的な高原リゾート地として整備・育成

② 東日本地方創生回廊とスーパー・メガリージョンとの連結拠点創出プロジェクト

東北・北海道、上越、北陸新幹線が集まる大宮をスーパー・メガリージョンに対する東日本の玄関口と位置づけ、東日本各地とスーパー・メガリージョンとのビジネスマッチングや東日本各地のショールーム機能を持つ拠点を設けることなどにより両地域の対流を促進し、スーパー・メガリージョンの効果を東日本各地に波及させる。

東日本地方創生回廊のイメージ



【背景】

- 東北・北陸・上越方面の各新幹線が大宮駅で結節・さらに、北陸新幹線・北海道新幹線の延伸
- 地元さいたま市の「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」が始動
- 東京都心被災時に迅速に支援可能な立地と機能集積

【取組内容】

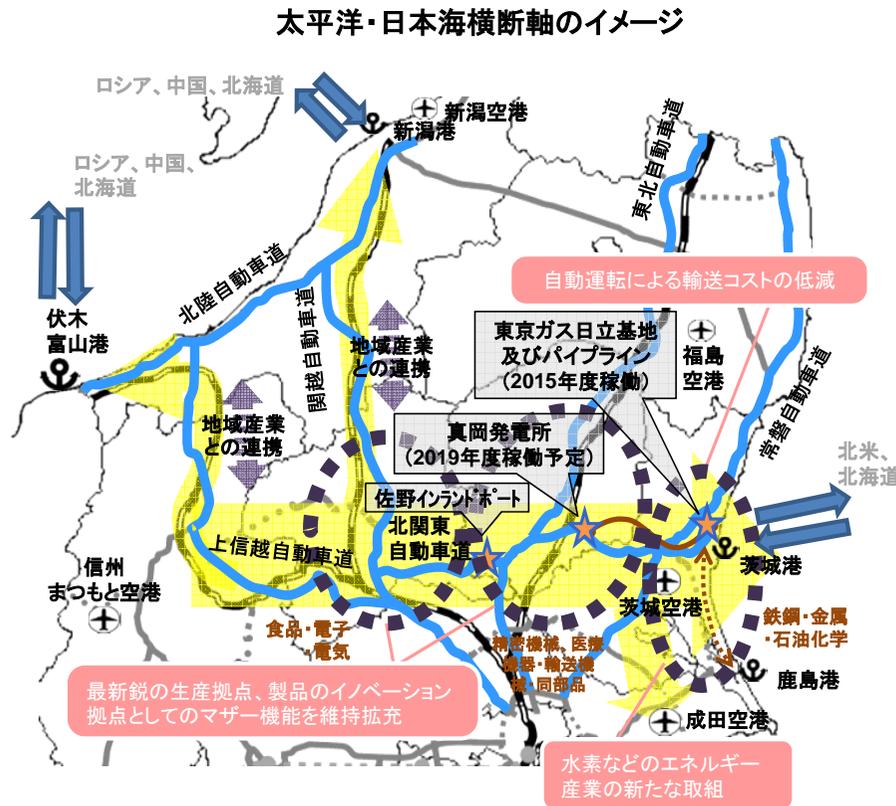
- これからの検討課題等
 - ・大宮駅及び周辺地区の機能強化の検討
 - ・空港アクセス機能強化の検討・防災拠点の検討
 - ・東日本における地方創生回廊づくりの具体的方策の検討
 - ・リニア整備の効果を見据えた具体的方策の検討

【効果】

- 東日本連携支援センターのビジネス相談・交流機能、東日本各地のショールーム機能等により、北海道、東北、北陸、信越、北関東の企業とスーパー・メガリージョン(首都圏・中部圏・近畿圏)の企業とのビジネスマッチング、販路拡大
- ホテル、コンベンション等複合施設を活用したビジネスマッチングフェアや物産フェアなどのイベント型の東西連携やビジネス拠点としての機能の充実
- 東京都心に近い立地と機能集積を活かし、TEC-FORCEの進出拠点として迅速な震災復旧・支援、バックアップ
- 「歴史・文化」「自然」「温泉」「食」等多彩な地域資源を活用し、「日光・会津・上州歴史街道」等の新たな広域観光周遊ルートを創出することにより、インバウンドを含めた観光振興による交流人口の増加

③ 太平洋・日本海横断高競争力製造業ベルト創出プロジェクト

北関東・信越地域における北関東自動車道等の高速道路網の整備、太平洋・日本海両面の港湾を活用できる立地特性を活かし、両地域の産業連携、海外工場の国内回帰、マザー工場の集積等、競争力の高い製造・エネルギー産業の集積を進め、高度な国際競争力を有する産業集積ベルトの構築を目指す。



【背景】

- 北関東道がH23.3に全線開通し、高速道路と茨城港等の港湾とが広域で直結
- 北関東3県はH25以降、工場立地件数が全国上位を占有
- 東京ガス日立基地及びパイプラインがH27年度に稼働。更なる増強計画が進行中
- 常陽銀行(茨城)と足利銀行(栃木)が統合し、めぶきFG(総資産地銀3位)が誕生(H28.10)

【取組内容】

- これからの検討課題等
 - ・拠点港である茨城港への荷集めと航路便数の確保、日本海側の港湾の活用促進
 - ・インランドポート(佐野等)の有効活用、コンテナ・ラウンドユースの推進
 - ・自動運転に向けた実証的な取組の積み上げ
 - ・水素関連製品の市場拡大(普及)
 - ・LNG基地やパイプラインなどのガスインフラを活かした取組の支援
 - ・広域交通ネットワークを活かした信越地域の製造業と北関東の製造業との連携

【効果】

- 高速道路と直結した港湾の有効活用・インランドポートや港湾のコンテナターミナル整備・自動運転の実用化等による物流コストの大幅な削減、ドライバー不足の克服、国際競争力の強化、環境負荷の低減
- 自動車・航空・機械等の基幹産業や燃料電池・水素関連産業等の未来型製造業の集積による経済成長
- 首都圏に近接する北関東の製造業と信越の産業との連携による「北関東信越地方創生回廊(仮称)」の実現

北関東3県では、現在も、工場立地が全国でも突出したペースで進んでいる

